

自然観察NOW

野幌森林公園自然情報

2005.5.15 No.2

北海道ボランティア・レンジャー協議会

違いは？

大沢コースを歩いていると、シロバナノエンレイソウ（ミヤマエンレイソウ）かオオバナノエンレイソウなのか花が蕾状態なので判別できない株を見つけました。また、大沢の池近くで、数羽のスズメが群れていましたが、よく見るとスズメではなくニュウナイスズメでした。ミヤマエンレイソウとオオバナノエンレイソウ、スズメとニュウナイスズメ、非常に似通っていて、しっかり観察しないと見間違えてしまいます。そこで、各々の特徴と違いを調べてみました。

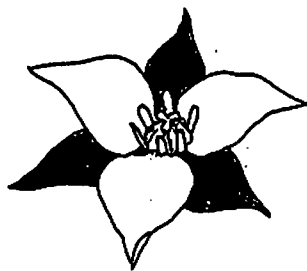
〔シロバナノエンレイソウ（ミヤマエンレイソウ）とオオバナノエンレイソウ〕

シロバナにしろミヤマにしろ、芽吹きから花が咲くまで15年前後かかることから「長生きしなければ花にまみえることなし」とのことで、「…延齡草」と漢字で書きます。また、イモのような根の年輪を数えると、何年生きたか識別できると言われます。

属名 *Trillium* は *treis*(3) に由来する語で、葉は3は、花卉3、萼3、子房は上位で3室、雄しべは6(3×2)で、各部が3の基数になっています。

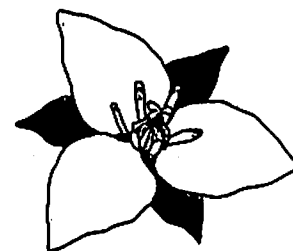
シロバナノエンレイソウ（ミヤマエンレイソウ）とオオバナノエンレイソウの花の違いは下図の通りですが、オオバナノエンレイソウの雄しべの葯（やく）は花糸にくらべて3倍ぐらい長くなっています。

ミヤマエンレイソウ



花卉はがく片とほぼ同長で、
どちらも先端が鋭くとがる。

オオバナノエンレイソウ



花卉はがく片よりはるかに長く、
どちらも先端は鋭くとがらない。

図：後とき検査表Ⅱ(エコ・ネットワーク)引用

〔スズメとニュウナイスズメ〕

スズメもニュウナイスズメもハタオリドリ科で、属名は2種とも *Passer* 属です。ご存じ、スズメは人間の生活圏をうまく利用することで繁栄していて、人がいないところでは暮らしていけない鳥です。「すずめ」の「すず」はシュンシュンという鳴き声、「め」は小さい鳥の意味からきているとの説があります。ニュウナイスズメは木のまばらな林を好み、語源の「にゅうない」はニイナメ（新嘗…新しい穀物）の変化で、未熟な稲を好んで食べることからきたとの説があります。体型の特徴は、スズメはまず、目の下の頬の部分に黒斑があり、ニュウナイスズメにはありませんし、スズメよりややほっそりした感じがします。

鳴き声はニュウナイスズメのほうが、どちらかという和高く澄んだ声ですが、共にさえずりや地鳴きをするので、耳をすまして聞いてみましょう。

エゾノリュウキンカ

大沢の池付近の沢筋に黄色の花をつけたエゾノリュウキンカを見ることができます。漢字名は「蝦夷立金花」と書き、茎が直立し金色の花を咲かせるところからきています。茎や葉の形がフキに似て湿地に生えるところからヤチブキ（谷地蓴）の別名があります。

エゾノリュウキンカはキンボウゲ科のリュウキンカ属で、属の学名カルタ（Caltha）は、ギリシャ語の語源で「杯」を意味し花の形に由来しています。この属には世界に13種あり、主に北半球の亜寒帯の湿地に自生しています。

日本には北海道の南部ならびに本州以南に分布するリュウキンカと北海道と青森・秋田の一部に分布するエゾノリュウキンカの2種があります。

キンボウゲ科のなかのリュウキンカ属は比較的原始性を保っているグループといわれ、花には花弁がありません。花弁状に見えるものは萼片です。上向きに開く各片の表面はロウを塗ったようなつやがありますが、これは透明な表面組織などによる光の屈折、反射の物理的要因で、光沢のある化学物質がるわけではありません。

オオルリ — 日本三鳴鳥 —

高木の頂きで美しい鳴き声を響かせるオオルリの姿を観察できる季節になりました。雄は名の通り、頭から上面は瑠璃色、顔と喉から胸、脇腹は黒く、腹から下尾筒は白の大変美しい鳥です。

瑠璃とは七宝の一つとして古代インドや中国で珍重された宝石ですが、鳥の名前ではルリといえは青色、アオといえは緑色を指す傾向があります。

オオルリは姿ばかりでなく、鳴き声も美声で、ウグイス、コマドリと共に日本三鳴鳥とも言われています。雄の鳴き声は、おしまいの部分で「ジュジュッ」と濁るのが特徴です。普通さえずりは雄がしますが、オオルリは雌もさえずることがあります。

この雄と雌のさえずりの意味に違いがあります。雄のさえずりは、繁殖のための細張り宣言と雌を呼ぶためのアピールです。雌のそれは、営巣した近くに外敵を発見した時に発します。鳴き方も若干異なり、短めでおしまいの部分の「ジュジュッ」がありません。

日本には、オオルリの他に瑠璃色（青色）の鳥、コルリとルリビタキがいます。この3種を「瑠璃三鳥」と呼ぶことがあります。これからの時期、沢沿いの高木の頂きで鳴くオオルリを見つけましょう。



観察会情報予定

- 恵庭公園観察会 5月22日（日） 10:00~12:00 恵庭公園駐車場
- 三角山登山観察会 5月29日（日） 10:00~14:00 緑花会前登山口（弁当持参）
ゆっくりと花を観察しながら登ります。大倉山までいきます。花と札幌の展望を楽しみながら歩きましょう。
- 森の仕組みを観察しよう 6月5日（日） 10:00~12:30 大沢口 ふれあい交流館
テーマを決め森をあるきましょう。野草、樹木、そこに棲む野鳥、昆虫などの関係を確かめながらの散策です。